



詩画作家 森田MiW × タオルメーカー楠橋紋織のコラボブランド!  
MiWさんのちょっと不思議であったかな絵が  
タオルやハンカチ、暮らしのアクセントになるモノタチに映しだされます。  
毎日がもっとオシャレにハッピーに。しあわせの時間が流れます。

3重  
ガーゼ  
ハンカチ

ふと気がつくとゆっくりとした世界が広がります。  
不思議な植物や日常と生き物たち。  
ワンポイント刺しゅうが抱きしめたいくらい、いとおしい。  
ふわりと軽い3重ガーゼです。

3重ガーゼハンカチ 純100%  
[サイズ] 約25cm×25cm 各770円(消費税込)  
Designed by Kusubashi Mon-ori in Japan, Made in China.

『花とクマンバチ』

あちらの花へブブ。  
こちらの花へブブ。  
羽のあるココロちいさなクマの仔は  
きっと相当なグリメに  
違いありません。  
朝からね、  
美味しいものばっか  
探してねえ。  
ブブ。



A-64794-86-BE

『花とマイマイ』

ゆうっくり。あの花へ。  
ゆうっくり。その花へ。  
この季節が終わるまで  
アナタはいくつ花々を  
旅することが  
出来るでしょう。  
ゆうっくり。  
まだまだ花たちは  
美しくそこに。



A-64793-86-B

『花とアリンコ』

ワタシの足下の小さくて可愛い花。  
アリンコの頭上の大きくて大胆な花。  
花たちの足下の小さくて  
くすぐりたいアリンコ。  
花たちの頭上の大きくて  
じっと見つめるワタシ。  
ワタシたちがまた全員  
ココで揃える時は  
来るんだろか。  
ワタシはふいに  
今を抱きしめる。



A-64795-86-SP

『花とオカイコ』

ふわふわふんわりのカワイイ子。  
モグモグモグとたくさん食べて  
スヤスヤスヤリと眠ってね…  
やがて目覚めたカワイイ子。  
白い天使になっていて  
大きな黒い瞳でさ  
ゆっくりと  
この世界を見渡してね…  
そうしてそのカワイイ子は。  
また次の命を  
ココに残そうと  
フワリテクテクと  
動き出したとさ。



A-65532-86-PAP

『花とカエル』

ピヨヨヨン。  
ピヨヨヨン。  
ドコかを目指して  
そのチビちゃんは  
何度も何度も  
跳んでいました。  
ピヨヨヨン。  
ピヨヨンヨンヨン。  
ドコかってドコ?  
シアワセの国ですか?



A-65533-86-Y

『花とカゲロウ』

澄んだ水辺をスーイスーイ。  
カゲロウはひとり飛んでいました。  
時々、小さいけれど  
美しい花にとまって  
優しい留め息を  
ついていました。  
きっとカゲロウのココロは  
美しく優しい澄んだ  
ココロなのでしょう。  
スーイスーイ。



A-65534-86-G

『アルマジロと団子虫』

「ココロまるまっちまつてさ、  
これじゃあちっとも  
食べられないよ。」  
だって。  
アルマジロが  
ココロぼやく  
屋下がり。



A-65934-86-GY

『カラスと針金ハンガー』

針金ハンガーは  
人類最大の発明だって  
そうカラスたちは云ってた。  
もう少し気前よく  
お裾分けしてくれたら  
地球生物評論の上位に  
ランクされるように  
推薦してあげても  
いいんだって。



A-65933-86-BE

『コモドドラゴンと花』

ドスリドスリと音たてで  
コモドドラゴンは大地を歩く。  
コワイコワイとみんなは彼を避けるけど  
彼のいちばん好きなモノ知ってる?  
それはそれは可愛い。  
ピンクの花の色だって。  
今日もその樹のところに  
やって来て、  
でねペロロと  
花にキスをして。  
この世でいちばん  
幸せだって目をしたよ。  
ねえステキな子でしょ?



A-65932-86-B

『ドードーと木の実』

タンバラコクの大好きな木は思いました。  
あのズングリとした奇妙で可愛い鳥は  
一体どこに行っちゃったんだろう?  
ボクが実だった時にさ、  
アイツに食べられちゃったワケだけれども、  
アイツのお腹を通ったボクはなぜかすっかり  
ヤル気満々になったんだ。  
元気に芽を出しさ、  
今やこんな大木になった。  
だからボクはお礼に  
たくさんの実をつけて  
アイツを待っている。  
それから300年以上  
経ったワケだけれど、  
アイツはさっぱり姿を  
見せやしない。  
きっともっと楽しい世界に  
行っちゃったんだな。



A-67261-86-P

『ウサギと白詰草』

春になって、ウサギはほんとうに  
嬉しくなっておりました。  
大好きな大好きな白詰草が  
これでもかというほど生まれ咲き、  
食べてもいいよ、  
髪飾りにしてもいいよ、と  
揺れて話しかけてくるのです。  
ウサギは。  
しばらくそのフサフサした  
緑の絨毯を眺めてから、  
一本の四つ葉を  
を見つけだしてしまいました。  
そして、  
ワタシは幸せなんだなあと  
深呼吸しました。



A-67263-86-G

『ワニと蝶々』

静かに澄んだ池があって、  
大きなワニが暮らしていました。  
池には蓮の花がユタユタと揺れていて  
なんとも甘い芳香に包まれていました。  
ワニはその匂いを  
嗅ぐのが好きでしたけれど  
もっと好きなのは  
蓮に集まってる蝶々の  
旅の話を聴くことでした。  
此處ではない処の  
ステキな話をステキな此処で  
聴くという贅沢。  
うん、  
なんて嬉しいことでしょう。



A-67262-86-KON